



電子黒板の利用

## 第1節 教育委員会

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教法」という。）」に基づき、区長が区議会の同意を得て任命する教育長（任期3年）及び4人の委員（任期4年）で構成する合議制の執行機関として、区長の行政権限から独立して区立学校その他の教育機関を管理し、就学、保健、給食、教科書採択、学習指導や図書館に関する事務を執行している。

委員会には事務局が置かれ、教育長の指揮監督のもとに、委員会の権限に属する事務を処理している。

なお、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保を前提とした新たな教育委員会の体制、教育行政の大綱の策定、総合教育会議の設置を柱とした「地教法」の改正が行われ、平成27年4月1日から施行された。

### 教育委員会委員

（令和6.5.1現在）

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	加 藤 裕 之	自 令和 3.10. 1 至 令和 6. 9.30
教 育 長 職 務 者 代 理	阿 部 博 道	自 令和 2.10. 1 至 令和 6. 9.30
委 員	岸 田 玲 子	自 令和 3.10. 1 至 令和 7. 9.30
委 員	岡 田 卓 巳	自 令和 4.10. 1 至 令和 8. 9.30
委 員	小 山 勉	自 令和 5.10. 1 至 令和 9. 9.30

## 第2節 学校教育

### 1 はじめに

昭和22年4月1日、新しい学制の発足により、本区では23の小学校に加え、12の新制中学校が設置された。当時の児童・生徒数は小・中学校合わせて19,936人(昭和22年5月1日現在)であったが、その後、小学校では昭和33年の36,819人、中学校では昭和37年の16,261人の児童・生徒数の最高値を示して以来、減少傾向をたどり、平成7年5月1日には、小学校32校10,290人、中学校13校4,739人と、ピーク時の3割程度に減少した。

このため、教育委員会では、平成9年11月に「墨田区立学校適正配置実施計画」を策定し、平成11年4月に小学校3校、中学校2校を統合し、押上小学校と文花中学校を開校、平成15年4月に小学校3校を統合し、八広小学校を開校、平成17年4月に小学校2校を統合し、隅田小学校を開校した。

しかしながら、小・中学校ともに、さらに小規模化が進んできたことから、墨田区全域を対象とした新たな墨田区立学校適正配置等実施計画(以下、「新たな実施計画」と表記)を策定し、平成20年4月に小学校2校を統合し、立花吾嬬の森小学校を開校した。その後も、平成23年4月に小学校2校を統合し、梅若小学校を開校、平成25年4月に中学校2校を統合し、桜堤中学校を開校、平成26年4月に中学校2校を統合し、吾嬬立花中学校を開校した。なお、今後の学校統廃合については、区内年少人口が増加傾向にあることなどから、平成25年9月に新たな実施計画を見直し、当分の間、統合計画等を見送ることとしている。

平成12年8月には、本区の教育のめざすべき方向性を定めた「すみだ教育指針」を取りまとめた。現在は令和4年度に改定した「すみだ教育指針(墨田区教育振興基本計画 令和5年度～令和8年度)」に基づく取組を進めている。

平成14年度からは、学校週5日制が完全実施され、平成17年度には全幼稚園、小学校、中学校における学校年二学期制を導入し、平成18年度には、幼保小中一貫教育の研究に着手し、平成25年度からは区立幼稚園及び区立小・中学校で取組を進めている。

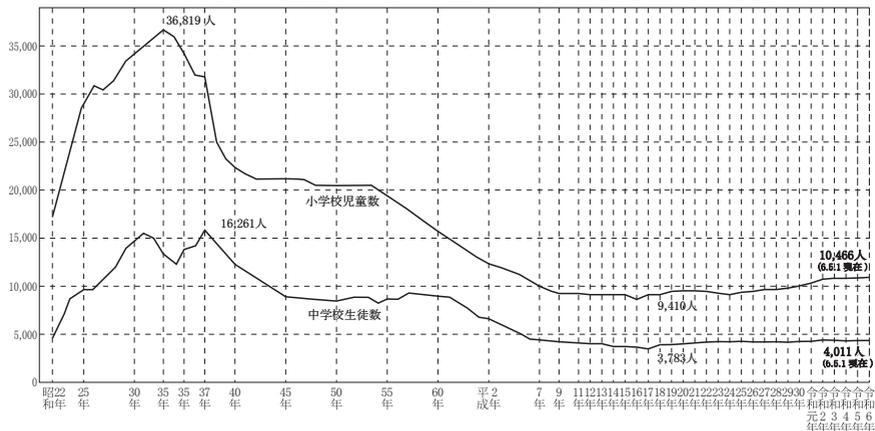
平成21年度からは、ICT(情報通信技術)を活用した「誰もが分かる授業」を創出し、児童・生徒の更なる学力向上や、学習意欲の向上に取り組んでいる。平成28年度には、電子黒板機能付きプロジェクターの全校整備が完了し、令和2年度には、国が掲げる「GIGAスクール構想」の実現に向けて、子どもたち

がいつでもどこでも学ぶことができる環境を構築するため、全児童・生徒へタブレット端末を配備した。

また、本区では、児童・生徒の「確かな学力」を育むため、組織的な学力向上に取り組んでおり、現在は令和4年度に改定した「墨田区学力向上新3か年計画（第3次）」に基づき、更なる学力向上を目指している。

今後も、家庭、地域社会、学校がそれぞれの役割を再認識し、更なる連携を図りながら「すみだ教育指針」に沿った教育施策を推進していく。

区立小・中学校の児童・生徒数の推移（昭和22年度～令和6年度）



## 2 幼稚園

現在、区立幼稚園は6園あり、定員は385名である。開園当初は1年保育であったが、昭和48年度から2年保育を行っている（ただし、令和6年度、八広幼稚園は4歳児学級を開設していない）。なお、介助があれば集団保育に適應できる特別な支援を要する幼児については、全幼稚園で各学級2名程度受入れをしている。

### 区立幼稚園現況

(令和6.5.1現在)

名 称	所 在 地	電話番号	園 長	定 員	開園年月日
緑 幼 稚 園	緑2-11-5	3635-1395	河原 宏子	70	昭和 44. 4. 1
柳 島 幼 稚 園	横川5-2-30	3625-1344	近藤 幸弘	70	46. 4. 1
菊 川 幼 稚 園	立川4-12-15	3633-5300	谷澤 あゆみ	70	48. 4. 1
第三寺島幼稚園	東向島6-8-1	3614-6867	関口 亮治	70	44. 4. 1
八 広 幼 稚 園	八広5-12-15	3614-8440	金澤 里美	35	46. 4. 1
立 花 幼 稚 園	立花1-25-9	3618-4419	宮田 宏子	70	50. 4. 1
合 計				385	

※私立幼稚園については313頁を参照

区立小学校

③ 小学校 (令和6.5.1現在)

校名	所在地	電話	開校年月日	建物延面積 (㎡)	敷面積 (㎡)	屋内運動場 (㎡)	校長名
緑	緑 2-12-12 <sup>及び</sup>	3634-6876	明 45. 6. 15	4,744	4,535	740	津 浮 あゆみ
外 手	本 所 2-1-16	3625-0301	大 5. 5. 17	5,065	3,901	721	沼 柿 広 美
二 葉	石 原 2-1-5	3625-0305	明 38.11.27	4,911	4,917	改築中	崎 山 隆
錦 糸	菊 川 1-9-12	3625-0311	大 7.11. 1	4,415	3,949	530	高 山 幸
中 和	菊 川 1-18-10	3634-7476	明 8. 9. 22	3,474	3,907	642	影 山 仁 徳
言 問	向 島 5-40-14	3625-0315	昭 12. 2. 1	4,573	6,386	500	中 嶋 保 美
小 梅	向 島 2-4-10	3625-0321	大 9. 5. 22	4,896	4,522	708	増 淵 裕 弘
柳 島	横 川 5-2-30	3625-0325	明 31. 9. 29	5,650	8,473	755	近 藤 幸 次
業 平	業 平 2-4-8	3625-0331	大 7. 3. 1	5,335	5,179	654	伊 藤 康 三
両 国	両 国 4-26-6	3634-7876	明 8.10.18	4,279	5,011	738	渡 邊 圭 聡
横 川	東 駒 形 4-18-4	3625-0335	明 35.12.20	3,903	6,406	576	森 村 隆 彦
菊 川	立 川 4-12-15	3634-8176	明 45. 4. 1	4,363	3,648	675	谷 澤 あゆみ
第三吾嬬	八 広 2-36-3	3617-7513	明 8. 4. 13	4,832	8,797	952	川 中 子 登 志 雄
第四吾嬬	京 島 3-64-9	3617-0232	昭 2. 6. 20	4,978	8,002	912	清 水 雅 也
第一寺島	東 向 島 1-16-2	3614-0103	明 12.10.12	4,517	6,707	571	高 橋 誠 人
第二寺島	東 向 島 4-30-2	3614-0105	大 13. 4. 20	5,306	10,394	550	由 良 口 亮 隆
第三寺島	東 向 島 6-8-1	3614-0201	昭 3.12.16	4,371	6,614	619	関 口 亮 治
曳 舟	京 島 1-28-2	3617-7617	昭 9. 5. 26	6,416	6,735	605	松 塚 智 加 子
中 川	立 花 5-49-4	3617-7921	昭 26. 5. 16	3,514	4,925	502	三 ヶ 島 誠 一 郎
東 吾 嬬	立 花 4-22-11	3617-8323	昭 31. 6. 27	3,481	7,707	1,388	藤 村 雅 彦
押 上	押 上 3-46-17	3617-8325	平 11. 4. 1	5,834	6,218	857	島 田 和 久 徳
八 広	八 広 5-12-15	3614-6911	平 15. 4. 1	5,496	10,252	580	勝 田 光 徳
隅 田	田 4-6-5	3614-0203	平 17. 4. 1	5,560	10,399	1,456	藤 井 洋 子
立花吾嬬の森	立 花 1-18-6	3618-4911	平 20. 4. 1	4,222	7,052	1,242	向 井 一 郎
梅 若	墨 田 2-25-1	3614-6913	平 23. 4. 1	5,148	7,522	954	安 藤 芳 典

※建物延面積(校舎面積)、屋内運動場には、給食室、地域連携施設、倉庫等の面積を含む(プール専用付属室は除く)。



## 児童・学級数一覽表

(令和 6. 5. 1 現在)

学校別	学 年 別	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		計	
		学 級 数	児 童 数												
緑		3	人 (3) 86	3	人 (2) 71	3	人 (2) 89	3	人 (2) 86	3	人 (0) 74	2	人 (1) 79	(2) 17	人 (10) 485
外 手		3	(1) 79	3	(1) 82	2	(3) 56	2	(1) 66	3	(5) 73	2	(1) 67	(2) 15	(12) 423
二 葉		3	99	5	141	4	129	4	124	3	95	3	113	22	701
錦 糸		2	45	1	30	2	45	2	52	2	68	2	43	11	283
中 和		2	(4) 41	2	(1) 51	2	(1) 45	2	(0) 51	2	(2) 43	2	(2) 57	(2) 12	(10) 288
言 問		1	25	2	45	2	46	1	31	1	27	1	32	8	206
小 梅		3	85	3	91	3	76	3	78	2	68	2	54	16	452
柳 島		3	80	3	71	2	68	3	72	2	69	2	70	15	430
業 平		3	(0) 81	3	(2) 81	3	(6) 83	3	(0) 82	3	(4) 94	3	(3) 88	(2) 18	(15) 509
両 国		3	93	3	84	3	82	3	86	3	80	3	87	18	512
横 川		3	76	2	67	2	65	3	74	2	66	2	77	14	425
菊 川		2	67	3	73	3	73	2	40	3	73	2	55	15	381
第 吾 三 孀		3	89	3	77	3	88	3	105	3	86	3	97	18	542
第 吾 四 孀		1	(10) 27	1	(1) 24	2	(4) 39	1	(4) 28	1	(14) 27	1	(7) 29	(5) 7	(40) 174
第 寺 一 島		2	(1) 54	2	(4) 59	2	(1) 61	2	(3) 47	2	(1) 62	2	(7) 60	(3) 12	(17) 343
第 寺 二 島		3	(1) 85	3	(3) 85	3	(6) 84	3	(1) 88	3	(3) 85	2	(7) 75	(3) 17	(21) 502
第 寺 三 島		2	58	2	55	2	54	2	51	2	64	2	51	12	333

学校別	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		計	
	学級数	児童数	学級数	児童数										
曳舟	3	72	3	96	3	94	3	83	3	90	2	71	17	506
中川	2	54	3	75	3	82	2	50	2	48	2	51	14	360
東吾嬬	2	52	2	50	2	51	2	50	2	50	2	56	12	309
押上	3	91	3	74	3	87	3	72	3	71	3	98	18	493
八広	4	110	3	88	3	92	3	84	3	84	3	88	19	546
隅田	2	(3) 58	2	(2) 64	3	(0) 75	3	(5) 74	2	(4) 67	2	(3) 66	(3) 14	(17) 404
立花吾嬬の森	2	(1) 50	2	(2) 62	2	(6) 52	2	(6) 62	2	(1) 60	2	(2) 50	(3) 12	(18) 336
梅若	2	64	2	62	2	61	2	62	2	53	2	61	[2] 12	363
合計		(24) 62 1,721		(18) 64 1,758		(29) 64 1,777		(22) 62 1,698		(34) 59 1,677		(33) 54 1,675	[2] (25) 365	(160) 10,306

※ ( ) は特別支援学級で外数。言問・柳島・押上は通級指導学級を設置しているが含めない。また、特別支援教室も含めない。

[ ] は日本語通級指導学級のため含めない。

※小1から小5までは1クラス35人で算定。小6のみ1クラス40人で算定。

## 4 中学校

## 区立中学校

(令和6.5.1現在)

校名	所在地	電話	開校年月日	建物延面積(m <sup>2</sup> )	敷地面積(m <sup>2</sup> )	屋内運動場	校長名
墨田	向島4-25-22	3625-0351～2	昭22.5.10	7,417	6,508	869	小出和正
本所	東駒形3-1-10	3625-0355～6	昭22.5.10	4,750	5,521	659	齊藤伸治
両国	横網1-8-1	3625-0361～2	昭22.5.10	8,222	8,116	3,269	杉浦伸一
堅川	亀沢4-11-15	3625-0365～6	昭22.5.10	4,964	7,181	707	稲垣吉実
錦糸	石原4-33-14	3625-0375～6	昭29.4.1	5,908	6,336	819	和田浩二
吾嬬第二	八広4-4-4	3617-2180～1	昭22.5.10	7,717	8,690	1,049	駒田るみ子
寺島	八広1-17-15	3617-0637～8	昭25.4.1	5,247	8,286	2,109	田中茂和
文花	文花1-22-7	3617-0264～5	平11.4.1	5,976	9,033	1,036	遠藤博則
桜堤	堤通2-19-1	3616-5630～1	平25.4.1	6,851	13,003	1,001	吉岡大司
吾嬬立花	立花5-48-2	3616-2271～2	平26.4.1	7,724	10,466	970	佐藤順一

※建物延面積(校舎面積)、屋内運動場には、給食室、地域連携施設、倉庫等の面積を含む(プール専用付属室、武道場は除く)。



## 生徒・学級数

(令和6.5.1現在)

学校別	学年別	1年		2年		3年		計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
墨田		4	人 (4) 119	4	人 (4) 151	4	人 (5) 145	(2) 12	人 (13) 416
本所		4	(2) 117	4	(3) 139	5	(1) 166	(1) 13	(6) 422
両国		6	217	5	185	6	205	17	607
竪川		3	(10) 105	4	(6) 137	4	(6) 127	(3) 11	(22) 369
錦糸		3	89	2	59	2	66	7	214
吾孺第二		3	(5) 77	3	(10) 100	3	(5) 85	(3) 9	(20) 262
寺島		4	(5) 115	3	(4) 110	4	(5) 139	(2) 11	(14) 363
文花		3	[0] 78	3	[14] 93	3	[9] 100	9	[23] 271
桜堤		5	170	5	162	5	165	15	497
桜堤 (校内別室学級)		1	7	1	3	1	8	3	18
吾孺立花		6	180	5	161	4	133	15	474
合計		42	[0] (26) 1,274	39	[14] (27) 1,301	41	[9] (22) 1,338	[3] (11) 122	[23] (75) 3,913

※ ( ) は特別支援学級で外数。桜堤は通級指導学級を設置しているが含めない。また、特別支援教室も含めない。

文花及び合計の上欄の数値 [ ] は夜間学級で外数

※中1は1クラス35人で算定(両国中学校は40人で算定)、その他の学年は40人で算定

令和5年度 区立中学校卒業生進路状況

(令和6.3.31現在/単位:人)

	進学者	就職者	その他	合計
墨田中	157	1	1	159
本所中	145	1	1	147
両国中	219	1	0	220
竪川中	120	1	0	121
錦糸中	40	4	1	45
吾嬬第二中	103	0	2	105
寺島中	117	0	2	119
文花中	68	2	1	71
桜堤中	155	0	2	157
吾嬬立花中	159	0	1	160
文花中夜間	7	1	0	8
合計	1,290	11	11	1,312

### 5 特別支援教育

「特別支援教育」とは、障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。

#### 特別支援学級

知的障害学級、難聴学級、言語障害学級、特別支援教室（情緒障害等）などを設置している。それぞれの学級では、入級児童・生徒が将来自らの力で一般社会環境に順応していくことができるよう、各人の障害や個人差に応じた特別支援教育を行っている。

特別支援教室（情緒障害等）は、平成28年度以降小学校から順次開設し、令和2年度からは全小・中学校で、巡回による指導を開始した。令和2年度に小学校を9ブロック、中学校を2ブロックに区分けし、各ブロックに拠点校を設置して、ブロック内を拠点校の指導教員が巡回し指導している。

特別支援学級児童生徒・学級数

(令和6.5.1現在)

小学校				中 学 校			
学 校 名	障害種別	学級数	児童数	学 校 名	障害種別	学級数	生徒数
緑	知的障害	2	10人	墨田	知的障害	2	13人
外手	知的障害	2	12	本所	知的障害	1	6
中和	知的障害	2	10	堅川	知的障害	3	22
言問	(難聴)	(1)	(6)	吾嬬第二	知的障害	3	20
言問	(言語障害)	(2)	(33)	寺島	知的障害	2	14
柳島	(言語障害)	(1)	(17)	桜堤	(難聴)	(1)	(4)
業平	知的障害	2	15				
第四吾嬬	知的障害	5	40				
第一寺島	知的障害	3	17				
第二寺島	知的障害	3	21				
押上	(言語障害)	(2)	(35)				
隅田	知的障害	3	17				
立花吾嬬の森	知的障害	3	18				
合 計		(6)	(91)			(1)	(4)
		25	160			11	75

注：学級数欄（ ）は通級指導学級数  
児童・生徒数欄（ ）は通級指導学級の人数

特別支援教室（情緒障害等）（令和6.5.1現在）

小学校 特別支援教室利用児童数 640人

中学校 特別支援教室利用生徒数 96人

注：特別支援教室は学級数としての算定はしない

・特別支援教室設置校

校種	拠点校	巡回校				
小学校	外手	業平	横川			
	錦糸	柳島				
	言問	小梅	第一寺島			
	両国	緑	二葉			
	菊川	中和				
	第三寺島	第三吾嬭	八広			
	中川	東吾嬭	立花吾嬭の森			
	押上	第四吾嬭	曳舟			
	梅若	第二寺島	隅田			
中学校	両国	本所	堅川	錦糸		
	吾嬭立花	墨田	吾嬭第二	寺島	文花	桜堤

注：平成30年度から区立小学校全校に特別支援教室を開設

令和2年度から区立中学校全校に特別支援教室を開設

6 夜間学級

義務教育未修了者のための教育の場として、区立文花中学校に設置している（既卒者については、要相談）。なお、日本語習得が不十分な生徒に対して、日本語の教育を行うための日本語学級も、昭和46年6月に同校に開設し、現在、普通学級2学級、日本語学級1学級の合計3学級を設置している。

文花中学校夜間学級・生徒数

（令和6.5.1現在）

学年・学級数 種別	1年	2年	3年	計	学級数
普通学級	0人	2人	8人	10人	2
日本語学級	0人	12人	1人	13人	1
計	0人	14人	9人	23人	

## 7 教育相談室

教育相談室は昭和31年に、幼児・児童・生徒の教育上の諸問題についての相談や、必要に応じて医療機関と連携を図り、臨床的な援助を続けながら教育相談活動を行うことを目的として創設された。

平成6年12月のすみだ生涯学習センターの開館に伴い、南部教育相談室（両国小学校内）と北部教育相談室（第三寺島小学校内）を統合し、同センター内に設置した。生活指導・進路指導相談については、平成7年4月から現在のすみだスクールサポートセンター（第三寺島小学校内）で行っている。

令和5年度は85件の新規登録があり、88件（前年度以前からの継続分を含む）が終結した。令和5年度末の登録件数は119件である。

なお、教育相談室及びすみだスクールサポートセンターは令和6年11月に、墨田区教育センター（横川5-7-4 すみだ保健子育て総合センター内）に移転予定である。

### 相談内容・場所

（令和6.4.1現在）

相談内容	相談場所	電話
教育相談	ユートリヤ（すみだ生涯学習センター） A棟4階（東向島2-38-7）	5247-2012
親子電話相談		5247-2015
ヤングテレフォン相談		3616-1003
生活指導・進路指導相談	第三寺島小学校内（東向島6-8-1）	3613-0127

### 主訴別登録件数

（令和5年度）

	不 登 校	性 格 行 動			学 習 障 害	言 語 障 害	特 別 進 路 支 援 学 級 入 級 相 談	そ の 他	総 計
		かん 黙 等	暴 力 ・ 怠 学 等	情 緒 不 安 定					
幼 児	3件	6件	3件	1件	0件	0件	0件	2件	15件
小 学 生	29	15	19	3	18	0	1	31	116
中 学 生	17	8	2	0	8	0	2	11	48
高 校 生 等	13	3	0	0	1	0	3	8	28
合 計	62	32	24	4	27	0	6	52	207

## 8 学校給食

学校給食は児童生徒の健全な発達及び区民の食生活改善に果たす役割が大きいため、栄養改善などの指導にあたる学校栄養職員を全校に配置しているほか、平成22年4月から栄養教諭を配置した。

また、食育推進のより一層の向上を図るため、区立小・中学校長やPTAの代表などからなる墨田区学校給食協議会や、小学校教育研究会家庭科・食育部、中学校教育研究会給食部、墨田区立小学校栄養士会及び墨田区立中学校栄養士会がそれぞれの分野で研究活動をしている。

さらに、学校給食の多様化や質の向上を図るため、平成元年4月から学校給食改善事業を導入し、調理業務の給食専門会社への順次委託、ランチルームの設置や食器の改善等を実施してきた。この改善事業も平成16年度をもって完了した。

令和6年度の給食費（月額）は、小学校低学年4,684円、中学年5,156円、高学年5,693円、中学校6,079円（夜間学級は6,239円）だが、令和5年10月から開始した給食費の徴収免除事業を継続して実施しており、全額公費負担となっている。

### 小・中学校栄養士等配置状況

（令和6.4.1現在）

		小学校	中学校	教育委員会	合計	
都 費	常勤	8(1)	10(1)		18(2)	平成22年度から小学校に栄養教諭を1名、平成27年度から中学校に1名、計2名配置
	区費			1	1	
	会計年度任用	17	1	1	19	小学校は昭和54年度から、中学校（夜間）は平成7年度から配置 教育委員会は平成21年度から配置
合計		25(1)	11(1)	2	38(2)	

注：（ ）内は、うち栄養教諭数

## 9 学校保健

学校教育を円滑に実施する基盤として、児童・生徒、教職員の健康の保持・増進を図っている。また、各学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置して、学校保健安全計画の立案の支援や保健管理に関する専門的事項の助言、定期健康診断・臨時健康診断等を実施し、児童・生徒、教職員の健康管理に適切な措置を講じている。さらに、平成20年度から教職員（40歳以上の者）に係る特定健康診査を、平成24年度からVDT健診を実施している。

平成28年度から児童・生徒の定期健康診断において座高の測定、寄生虫卵の有無の検査が廃止となり、運動器健診（四肢の状態の検査）が追加された。また、色覚検査についても、平成15年度に法定検査が廃止されたが、学校生活や職業選択への悪影響が出た事例があったことから、国の通知を踏まえ、平成28年度から希望者に色覚検査を実施している。

### 心臓健診

循環器系障害の早期発見のため、昭和55年度から小・中学1年生全員、及び学校における日常観察で検査の必要を認める児童・生徒に、心音、心電図検査を実施し、検査の結果、異常があった場合には適正な生活指導を行っている。

### 腎臓健診

腎疾患を早期発見するため、全児童生徒を対象に、尿スクリーニングを主とした第1次（たん白、糖、潜血）から第3次まで検査を実施し、検査の結果、異常があった場合には適正な生活指導を行っている。

### 日本スポーツ振興センター

日本スポーツ振興センターは、学校安全の普及充実に図るために、学校の設置者が日本スポーツ振興センターと共済給付契約をし、一定の掛金を納入することで学校の管理下における児童生徒の負傷、疾病に対する療養費給付、または、障害、死亡に対する見舞金の給付を行っている。本区では、区立の小中学校・幼稚園全校の児童生徒が加入しており、1人あたりの掛金（小中学校935円、幼稚園285円）は、全額区が負担している。

校 医 等

(令和 6.7.1 現在)

所属校	内 科 医	眼 科 医	耳鼻咽喉科医	歯 科 医	薬 剤 師
(小学校)					
緑	関 谷 駿 一	梶 原 一 人	市 川 菊 乃	梶 谷 光 慶	関 谷 恒 子
外 手	玄 哲 樹	前 田 育 枝	竹 田 英 子	篠 塚 嘉 昭	高 久 美 保
二 葉	増 田 敬	森 純 一	竹 田 英 子	浅 野 智 之	笹 木 玲 子
錦 糸	大 室 博 之	森 純 一	市 川 菊 乃	長 岡 博 司	嶋 下 寛 明
中 和	唐 澤 賢 祐	川 名 浩 一 郎	野 口 雄 五	阿 部 昌 彦	澤 井 真 幸
言 問	井 尻 昌 生	毛 塚 尚 利	齋 藤 成 明	寺 岡 通 博	田 口 善 一
小 梅	山 室 学	毛 塚 尚 利	齋 藤 成 明	富 澤 卓 郎	倉 重 友 和
柳 島	川 越 信	松 崎 淳	増 田 正 純	真 下 裕 道	澤 田 光 貴
業 平	芳 賀 克 也	毛 塚 潤	市 川 菊 乃	北 村 伸 次	本 間 美 穂 子
両 国	唐 澤 賢 祐	岩 崎 美 紀	竹 田 英 子	武 井 和 彦	森 拓 郎
横 川	山 室 学	前 田 育 枝	齋 藤 成 明	篠 崎 讓 二	溝 渕 祐 子
菊 川	古 川 猛	河 本 旭	市 川 菊 乃	丸 山 満 博	山 村 昌 敬
第三吾嬭	平 野 仁 志	岩 城 久 泰	増 田 正 純	長 澤 太 郎	近 藤 制 子
第四吾嬭	中 川 義 宏	高 橋 英 樹	齋 藤 成 明	三 好 克 則	渡 邊 浩 一
第一寺島	川 上 悠 介	岡 田 修	長 田 恵 子	田 口 清 児	石 本 純 子
第二寺島	大 倉 史 也	毛 塚 潤	長 田 恵 子	中 澤 豊 紀	片 山 佳 子
第三寺島	福 岡 佳 代	岡 田 修	竹 田 英 子	野 苺 家 清	月 村 庄 一
曳 舟	西 島 由 美	川 名 浩 一 郎	増 田 正 純	遅 澤 顕 二	白 石 弘 子
中 川	揚 志 成	高 橋 英 樹	大 西 正 樹	野 口 英 昭	清 水 稔 子
東 吾 嬭	揚 志 成	木 下 英 彦	大 西 正 樹	永 尾 真 以	勝 野 純 子
押 上	西 島 由 美	高 橋 英 樹	野 口 雄 五	永 倉 貴 子	赤 松 洋 子
八 広	鈴 木 博	岩 城 久 泰	大 西 正 樹	平 野 秀 司	石 本 眞 理 子
隅 田	木 村 トミ子	毛 塚 潤	吉 田 礼 於 那	西 澤 克 哉	濱 野 明 子
立花吾嬭の森	小 山 純 生	木 下 英 彦	大 西 正 樹	嶋 川 大 助	後 藤 加 奈 子
梅 若	柏 木 三喜也	毛 塚 潤	吉 田 礼 於 那	青 沼 光 広	副 田 行 夫
(精神科医	比 賀 晴 美)				

所属校	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
(中学校)					
墨田	川上悠介	毛塚尚利	長田恵子	吉江保隆	岡本日佐子
本所	福井一人	毛塚尚利	竹田英子	湯澤伸好	鳥居徹也
両国	佐藤義隆	前田育枝	齋藤成明	戸嶋誠司	永井基美
堅川	都野晋一	森純一	市川菊乃	堀川晴久	赤間令子
錦糸	佐藤和子	松崎淳	増田正純	山田隆博	小澤久美子
吾孀第二	小田三郎	川名浩一郎	長田恵子	稜川雅彦	山本和美
寺島	加藤賢二	岡田修	野口雄五	大久保勝久	川村妃砂子
文花	下山田和裕	岡田修	長田恵子	大川光夫	川松いづみ
文花(夜間学級)	下山田和裕	岡田修	長田恵子	大川光夫	川松いづみ
桜堤	石原哲	岩城久泰	吉田礼於那	木津喜広	石川文子
吾孀立花	川上悠介	木下英彦	増田正純	大平玄久	金正有希子
(精神科医)	荻野耕平				
(幼稚園)					
緑	唐澤賢祐	梶原一人	市川菊乃	鈴木喜貴	関谷恒子
柳島	佐々木豊	高橋英樹	増田正純	島村芳直	澤田光貴
菊川	関谷駿一	森純一	市川菊乃	宇田川宏孝	山村昌敬
第三寺島	福岡佳代	岩城久泰	竹田英子	高田敬一	月村庄一
八広	鈴木博	岩城久泰	大西正樹	北總光生	石本眞理子
立花	鈴木洋	木下英彦	大西正樹	田中宏昌	勝野純子

児童・生徒の体位

(令和5年度)

項目	学校種別	年 齢	男 子		女 子	
			身長	体重	身長	体重
墨田区	小学校	6	117.4	21.3	116.4	20.8
		7	123.8	24.3	122.4	23.7
		8	129.3	27.6	128.2	26.6
		9	134.9	31.1	134.9	30.4
		10	139.8	34.2	142.1	35.3
		11	147.3	40.3	148.5	40.1
	中学校	12	155.3	45.8	153.1	44.1
		13	161.9	50.4	155.5	47.4
		14	166.8	54.4	156.8	49.1
東京都	小学校	6	117.3	21.7	116.3	21.3
		7	123.4	24.6	122.6	24.1
		8	128.7	28.0	129.0	27.3
		9	134.7	32.0	135.1	30.8
		10	140.6	36.4	142.1	35.4
		11	146.7	40.2	148.7	40.7
	中学校	12	154.6	45.8	152.8	44.6
		13	161.6	51.2	155.6	47.8
		14	166.1	55.1	156.9	49.7
全 国	小学校	6	117.0	21.8	116.0	21.3
		7	122.9	24.6	122.0	24.0
		8	128.5	28.0	128.1	27.3
		9	133.9	31.5	134.5	31.1
		10	139.7	35.7	141.4	35.5
		11	146.1	40.0	147.9	40.5
	中学校	12	154.0	45.7	152.2	44.5
		13	160.9	50.6	154.9	47.7
		14	165.8	55.0	156.5	49.9

※東京都・全国については、直近の公表値である、令和4年度数値を掲載している。

## 10 地域から信頼される学校教育

区立各幼稚園、小・中学校においては、自校（園）の教育活動について、保護者はもとより広く区民に説明責任を果たし、その信頼に応じていく地域の学校として地域の特色に合った、信頼され、愛される学校づくりを進めている。

また、全ての教職員が大切な子どもたちを育てるために自己の資質・能力の向上に努めていくことができる研究・研修等の充実を図っている。

### 学校選択制度の導入

本制度は現行の通学区域を維持する中で、保護者が希望する区立の小・中学校を自ら選択できるとともに、特色ある学校づくりを積極的に推進するものである。中学校については平成14年度から導入し、小学校については平成15年度から導入した。平成29年4月以降の新入学児童を対象に、選択できる小学校の範囲を区内全域から、隣接する学区域までに見直した。

### 二学期制の実施

「知識基盤社会」の時代などと言われる社会の構造的な変化の中で、子どもたちに、「生きる力」をはぐくむ教育を一層充実することが求められている。そこで、授業時間数を確保し、一人一人に「確かな学力」を育成するとともに、個性や能力を伸ばすために、全ての区立学校・園で「二学期制」を実施している（中学校は平成16年度から、小学校・幼稚園は平成17年度から）。

### 研究協力校（園）及び特色ある学校づくり推進校

各学校における今日的教育課題の研究及び特色ある学校づくりの推進を図るために、全校（園）を挙げた実践、研究に対して、区が援助をする。指定を受けた学校（園）はその成果を公開発表し、本区教育の充実・発展に資するとともに、保護者、地域、区民に対して教育情報を発信して理解・啓発を図る。

令和6年度 墨田区教育委員会研究協力校（園）及び特色ある学校づくり推進校（園）

令和6年度研究協力校（園）【2年次】※5/5園・校

学校・園名	教科・領域等	研究主題	発表予定日
第三寺島幼稚園	全領域	一人一人が輝く幼児の育成 ～明日の保育をつくる援助を探る～	6.11.20
横川小学校	保健体育科	「自らの課題を見つけ、学び合う児童の育成」	6.12.20
中川小学校	国語	主体的にかかわり合い学び合う児童の育成	6.12.13
押上小学校	全教科・全領域	情報活用能力を活かし、自ら探求する児童の育成	6.10.18
墨田中学校	全教科・全領域	魅力ある学校づくり ～すべての生徒にとっての心の居場所づくりの実践～	7.1.15

令和6年度研究協力校（園）【1年次】※5/5園・校

学校・園名	教科・領域等	研究主題	発表予定日
柳島幼稚園	全領域	互いのよさを生かし、協同して遊ぶ幼児を育てる ～異年齢の関わりに着目して～	誌上発表
中和小学校	全教科・全領域	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた 実践的研究 ～育成すべき資質・能力を明確にした学習デザインの確 立を目指して～	誌上発表
小梅小学校	全教科・全領域	主体的に考え、共に学び合う児童の育成 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を連携し、深 い学びにつなぐ～	誌上発表
第三吾嬬小学校	全教科・全領域	児童の主体性の育成 ～「児童が主体となる学習時間」の創出～	誌上発表
両国中学校	全教科・全領域	主体的に学びに取り組む生徒の育成 ～学ぶ意欲の向上による学力向上～	誌上発表

令和6年度特色ある学校づくり推進校（園） ※8/8園・校

学校・園名	教科・領域等	研究主題	発表予定日
緑幼稚園	健康	遊びたい！続けたい！またやりたい！ ～思わず体を動かしたくなる環境と教員の援助～	7.1.21
外手小学校	保健体育科	豊かに関わり意欲的に運動に取り組む子供の育成 ～誰でも楽しく取り組むことができる教材の工夫を通 して～	7.1.21
二葉小学校	全教科・全領域	カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業改善	7.1.21
言問小学校	算数科	どの子も分かる喜びと学ぶ楽しさを味わわせる授業作り	7.1.21
第四吾嬬小学校	全教科・全領域	地域教材に主体的にかかわり、課題を発見・解決する児 童の育成 ～地域教材の開発と単元化を通して～	7.1.21
第一寺島小学校	国語科	学びを深める児童の育成 ～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～	7.1.21

第三寺島小学校	全教科・全領域	主体的に学びに取り組む児童の育成 ～学ぶことに興味や関心をもつ単元づくりを通して～	7.1.21
錦糸中学校	全教科・全領域	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	7.1.21

### 不登校・いじめ対策（思いやりのある学校づくりの取組を受けて）

年 度	対 策 に つ い て
平成元年	「思いやりのある学校づくり検討委員会」設置
平成3年	ステップ学級（適応指導教室）設置
平成16年	サポート学級（自立支援教室）設置
平成19年	区立小・中学校の全てにスクールカウンセラーを配置
平成26年	「不登校対策担当者連絡会」・「いじめ対策担当者連絡会」を開催 「墨田区いじめ防止対策基本方針」を策定
平成29年	「墨田区いじめ防止対策基本方針」を改定
平成30年	「墨田区立学校不登校対策基本方針」を策定
令和2年	SNS相談窓口を開設
令和4年	WEB健康観察システムを導入
令和5年	区立中学校全校に校内スモールステップルームを設置
令和6年	桜堤中学校にチャレンジクラス「I組」を設置 不登校対応巡回教員による巡回指導を開始

不登校の対応の強化を目的に、平成30年9月の墨田中学校への設置以降、拡充を進めてきた校内スモールステップルームについては、令和5年度に区立中学校全校へ設置した。校内スモールステップルームには、校内別室指導支援員を配置し、学校の教員と連携しながら継続的・組織的な不登校の未然防止と早期対応、教室への段階的な復帰に向けた支援を行っている。

令和元年度から不登校対策支援員を設置し、区立小・中学校や不登校関係機関、児童館を巡回し、支援状況の把握や、管理職や教職員への指導助言を行っている。

令和6年度から、桜堤中学校に不登校生徒を対象とした別室学級であるチャレンジクラス「I（アイ）組」を設置するとともに、不登校対応巡回教員による巡回指導を開始した。チャレンジクラスは、ゆとりある生活時程の中で、生徒の居場所づくりと学習の保障をすること、巡回指導は、不登校対応巡回教員が区立中学校5校を巡回し、各校の不登校生徒の支援体制の整備や指導助言を行うことで、不登校対応力の向上を図っている。

児童・生徒のいじめ対策をねらいとして、平成26年度から各小・中学校に1名いじめ対策担当教員を配置し、「いじめ対策担当者連絡会」を年間3回実施している。

平成27年3月に「墨田区いじめ防止対策基本方針」を策定し、教育委員会で「墨田区教育委員会いじめ防止プログラム」を決定した。また、同プログラムは、

平成29年度に墨田区教育委員会いじめ問題専門委員会（以下、「専門委員会」という）において、評価、見直しを行い、平成30年3月に改定をした。

専門委員会においては、全ての教職員がいじめ問題に関する見識を深めることが重要であるとの認識が示され、それぞれの専門的な立場から長期に渡る議論を踏まえ、分かりやすく、かつ同プログラムの改定内容もほぼ網羅された【「墨田区 教職員用」いじめ対応マニュアル」、令和元年度には「いじめ対応のフローチャート」を作成し、それらを踏まえ、いじめの定義に基づくいじめの認知、組織的対応などについての理解を深めている。

また、いじめ問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるようにするために、24時間対応のいじめ電話相談窓口並びにSNSを使った相談窓口（令和2年11月開設）など、様々な取組を行っており、令和4年度からは、児童・生徒が毎日、自分の心と身体の状態を入力することで、自身の日々の状態や気持ちの変化を視覚的に把握できるWEB健康観察システムを導入した。本システムには、児童・生徒が教員に相談したい気持ちを伝えられる機能もついており、教員は児童・生徒の日々の記録の変化から心身の状態を把握し、早期に対応できるようになった。

こうした区の方針や取組を受け、各学校では、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページに掲載するとともに、毎月10日を「すみだいじめ防止の日」と定め、いじめ防止に関する啓発を行っている。また、「いじめに関する授業」を年3回以上行い、そのうち1回は「いじめ防止授業地域公開講座」として実施し、保護者、地域住民に広く公開している。さらに教員を対象とした、いじめに関する校内研修を年3回実施している。

### 音楽教育の充実

「音楽都市づくり」の一環として、区立学校の音楽教育の充実と音楽が好きな感性豊かな子供の育成を図っている。

平成4年度からは、新日本フィルハーモニー交響楽団員による小・中学校の音楽授業（ミニ・コンサート）を、平成13年度からは中学校において和楽器演奏家による伝統音楽鑑賞教室を実施している。

令和4年度から、新日本フィルハーモニー交響楽団の木管、金管、打楽器奏者等が中学校10校を訪問し、吹奏楽部への指導を行っている。

さらに、すみだトリフォニーホール開館25周年記念の日に、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任した佐渡裕氏の指揮のもと、中学校10校の吹奏楽部が一堂に会し、「墨田区中学校吹奏楽部合同演奏会」を開催した。

また、「国技館すみだ第九を歌う会」主催の「すみだ国技館5,000人の第九コン

サート」には、区立小・中学生が参加している。

### 教員研修

「教育は人なり」といわれるように、教員の資質・能力の向上はきわめて重要であることから研修の体系化を図り、研修会を計画的・継続的に実施する。

「職層研修」として、校長、副校長、新任主幹教諭、主幹教諭、主任教諭、教務主任、生活指導主任、研究主任、進路指導主任、養護教諭、特別支援学級教員の研修会を、「必修研修」として、初任者・新規採用、2・3年次、中堅教諭等資質向上研修Ⅰ・Ⅱの研修会を、「教員の専門性を高める研修」として、人権教育、特別支援教育、理科実技、体力向上、道徳教育、幼稚園教育、日本語指導、教育相談、すみだGIGAスクール授業研究員、外国語教育、食育、いじめ、不登校、MIM（多層指導モデル）等を実施している。

これらの研修を通して、幅広い知見や実践的な指導力を養成することを目的とした研修の機会充実に努めている。

### GIGAスクール構想

国のGIGAスクール構想に基づき、本区においても令和2年度（令和3年1月）に全校児童・生徒に一人1台タブレット端末の配備を完了した。令和3年度は「ステップ0からステップ1へ」と題して、教員・児童・生徒がタブレット端末を使って学ぶ習慣の定着を図った。令和4年度からは、ステップ2「学びを深める活用」段階を目標とし、「深い学び」の実現に向けたタブレット端末の効果的な活用を図っている。

## 11 学力向上「新すみだプラン」の推進

子どもたちに、自ら学び、主体的に問題を解決するなど「確かな学力」を身に付けさせることが重要な課題である。区では、平成16年度から「開発的学力向上プロジェクト」を実施し、学力向上を図ってきた。平成17年度からは学力向上「新すみだプラン」に基づき「学校の教育力の向上」「家庭の教育力の向上」「地域の教育力の向上」の3つを柱に事業を展開した。

平成17年度から「すみだ教育研究所」を設置し、「学習状況調査」の結果に基づく授業改善サイクルの確立、放課後学習への支援事業の実施など、学力向上に向けて、学校・家庭・地域が一体となった総合的な取組を展開してきた。

「墨田区学力向上新3か年計画」については平成28年度を初年度とし、「墨田区学力向上新3か年計画(第2次)(令和2年度～令和4年度)」、「墨田区学力向上新3か年計画(第3次)(令和5年度～令和7年度)」を順次策定した。この計画に基づき「基礎・基本的学習内容の定着」、「発展的学習の充実」及び「学習意欲の向上」といった学力向上に資する取組を進めている。

## 第3節 社会教育

### 1 はじめに

近年、少子高齢化や核家族化等の影響により地域社会の結びつきが弱まり、地域や家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした中、すべての子どもたちの未来への可能性を引き出すためには、地域全体で子どもたちを育てていく取組が求められている。

このような状況の中、区では、青少年の健全な成長を促すとともに、次世代を担う人材を育成するという観点から、社会教育事業の一環として、自然体験事業、子ども会や地域で活動するリーダーの育成、冒険遊び場の提供、育成団体の活動支援等の推進、放課後の子どもの居場所づくり等の事業を実施している。また、区民の郷土に対する理解や愛情を深めてもらうため、文化財保護法の目的である「文化財を保存し、且つその活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」に基づき、区内に現存する文化財の保存及び活用を図っている。

区では、今後も区民や事業者、地域の教育に関わる広範な関係者と連携し、様々な施策を進めていく。

### 2 青少年教育

青少年に健全で多様な活動の機会を提供し、その意欲に応えていくことが青少年の健全育成につながっていく。そこで、余暇の有効利用と青少年の活動の場の拡大や、青少年団体の育成を目的として、各種の事業や団体に対する支援、指導者の育成・研修などに努めている。

#### 青少年委員活動

地域の有志指導者を「青少年委員」として委嘱し、青少年団体やその関係者が団体の活動や組織・運営について気軽に指導や助言を受けられるようにしている。青少年委員は、区内の小学校通学区域ごとに1名と少年団体代表1名の計26名を委嘱している。

#### すみだ教室

義務教育を終了した知的障害者を対象に日曜日の青年学級として「すみだ教室」を開設した。全国で最も早い昭和39年度の開設でその運営や活動は、その後にできた全国の青年学級のモデルとなっている。

### わんぱく天国

子どもたちが自然にふれながら、生き生きとした冒険遊びや創造的な遊びができる場として開設した。ジャンボゲートや木工室などが設置されており、近隣はもとより遠方からも利用者が訪れるなど、好評を得ている。

### サブ・リーダー講習会

小学校高学年を対象に、ゲームや宿泊講習等を通してグループ活動を体験させ、自主性・協調性、責任感等を養い、子ども会や小学校などの各種グループ活動におけるイン・リーダーの育成を図っている。

### 少年団体育成

区内の子ども会の連合体である墨田区少年団体連合会への指導助言等を通じ、子ども会活動の活性化を図っている。

### PTA活動への援助

P T A活動の充実を図るために、区立小学校P T A協議会及び区立中学校P T A連合会が実施する研修大会等を支援している。

### 小学生農山村生活体験事業

農山村における自然や生活を体験させ、都市と農村の人的交流を図っている。

昭和61年度から「夏休み自然体験教室」として、墨田区の小学生が山形県高畠町を訪れ、平成元年からは高畠町の小学生と地域の方々を墨田区に招き、交流を深めている。令和2年度から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和6年度は再開予定である。

### 家庭と地域の教育力充実事業

家庭教育について自主的に学ぶ団体へ補助金を交付する家庭教育学級補助金交付事業に加えて、家庭教育支援講座（親子参加型教室）を開催し、家庭でのしつけや挨拶等、基本的な生活習慣と家庭における学習習慣が身につくよう取り組んでいる。また、家庭教育に関する情報を掲載した「子育て通信」（季刊）の配布を行うとともに、「子育て支援コラム」を区のホームページ上に掲載している。

### 放課後子ども教室事業

区立小学校の施設を利用して、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりを推進するため、保護者及び地域住民等からなる見守りボランティアが子どもたちの自由な遊び等を見守っている。

平成19年度から緑小学校、20年度から第三吾嬬小学校でいきいきスクールを開設。23年度からは、従来の校庭開放事業を平日に拡大する形で、校庭での自由遊びを中心とした放課後子ども教室を推進しており、全小学校で実施を目指

している。27年度からは、立花吾孀の森小学校、令和4年度からは、中和小学校が、いきいきスクールに内容を変更し実施（令和6年4月現在、21校（うちいきいきスクール4校））。

放課後子ども教室を実施していない小学校では、日曜日等を利用した従来の校庭開放を引き続き実施している。

### 学校支援ネットワーク事業

子どもたちが地域の方の多様な知識や知恵・技術等を学び「生きる力」を育むため、学習指導要領に対応した「出前授業」に特化して学校を支援するもので、小・中学校のニーズを把握して学校へ多種多様な出前授業メニューを提供している。これにより、子どもたちは地域の方に見守られながら新たな学びを体験し、学ぶ楽しさや気づき・発見などの「よろこび」を得るなど、地域ぐるみで子育てを行う体制を整備している。

メニュー数 237種類 実施件数 240件 授業回数 506回 協力団体数 313団体 派遣講師数 839名 児童生徒数 20,254名（令和5年度実績）

### 青少年委員

（令和6.7.1現在）

氏名	選出学区	備考	氏名	選出学区	備考
鳴島 央也	緑 小		大野 昌宏	第四吾孀小	
柳田 祐美子	外手 小		小林 正明	第一寺島小	
小松崎 砂由理	二葉 小		大政 幸子	第二寺島小	
大城 卓也	錦糸 小		天谷 友紀	第三寺島小	
阿部 玲子	中和 小		田村 美帆	曳舟 小	
齊藤 誠一郎	言問 小		渡邊 毅	中川 小	
加藤 才智	小梅 小		林 紀美子	東吾孀小	
関矢 和弘	柳島 小		井坂 文晴	押上 小	
市村 篤士	業平 小		小野 俊一	八広 小	
大塚 修	両国 小		増田 浩次	隅田 小	
鹿糠 秀俊	横川 小		松村 明子	立花吾孀の森小	
芹澤 千佳子	菊川 小		櫻井 まゆみ	梅若 小	
栗原 史成	第三吾孀小		坂井 博		少年団体代表

## わんぱく天国

所在地	面積	施設の概要
押上1-47-8	3,226.07㎡	ターザンロープ、ジャンボゲート(大型アスレチック)等があり、木工室では工作もできる。プレーリーダーが常駐しており、子どもの見守りや遊びの手伝いをしている(昭和62年4月開設)。

**3 青少年対策**

本区では総合的な青少年施策を進めるため、昭和30年3月に区長の附属機関として「墨田区青少年問題協議会」(略称「青少協」)を設置した。昭和36年5月の青少協では「地区委員会の設置基準及び会則案」を定め、同年8月から翌年7月にかけて区内の中学校地域を単位に12の地区委員会が、青少協の下部機関として組織された。

その後、昭和52年4月から各地区委員会は「地区青少年育成委員会」と名称を変更するとともに、青少協の下部機関ではなく地域の自主的な組織として、それぞれの地域の実情に即した独自の活動を行うこととなり、現在は10の地区青少年育成委員会が活動している。

青少協では、毎年度「青少年対策基本方針」を定め、区をはじめとする行政機関や各地区青少年育成委員会など青少年関係団体に、これに沿った施策や活動を行うことを求めている。

令和6年度の基本方針では、

- 1 健全な明るい家庭づくりを進めよう
- 2 青少年の社会参加を促進しよう
- 3 社会環境の浄化推進に努めよう
- 4 家庭、学校、地域、関係機関・団体の連携を強めよう
- 5 青少年の非行・被害防止運動を推進しよう

の5項目を重点目標として掲げている。7月にこども家庭庁が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、懸垂幕、ポスターの掲示、各地区青少年育成委員会では地域パトロール・青少年をとりまく環境調査(主にコンビニなどでの不健全図書の実態等調査)を実施している。

また、11月の「子ども・若者育成支援推進強調月間」には、各地区で展開している青少年非行防止・健全育成活動の関係者が一堂に会して、その現状を広く訴え、青少年健全育成の意識の高揚を図ることを目的に、「墨田区青少年健全育成区民大会」を実施している。

青少年育成委員会委員長

(令和6.7.1現在)

地区委員会名	委員長名
墨中地区青少年育成委員会	西村紀子
本中地区青少年育成委員会	白石祐一
両中地区青少年育成委員会	山口仁美
竪中地区青少年育成委員会	阿部修三
錦中地区青少年育成委員会	小林厚子
吾孺二中地区青少年育成委員会	坂井正廣
寺中地区青少年育成委員会	堀口義晃
文花中地区青少年育成委員会	市川清
桜堤中地区青少年育成委員会	長谷川豊
吾孺立花中地区青少年育成委員会	吉澤利雄

4 社会教育関係団体の活動支援、人権・同和教育の実施

社会教育関係団体の登録制度を設け、団体を支援し育成を図っている。また、人権について正しい理解と認識を深めるとともに、差別意識の解消を図るため、人権・同和教育事業を実施している。

社会教育関係団体の登録

区内の「社会教育関係団体」(公の支配に属さず、学習・文化・スポーツ等の社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とする団体)の育成発展を図るため、登録制度を設け、団体の活動を支援している。支援の内容としては、活動で区立小中学校施設を使用する場合、使用料が減免される。

分野別団体数 総数653団体 (令和6年4月1日現在)

少年団体

(令和6.4.1現在)

分 野	団体数
総 合 (子ども会、ガールスカウト、ボーイスカウト等)	20
文 化 (合唱、太鼓等)	5
スポーツ (サッカー、野球等)	203
そ の 他 (PTA、父母会等)	4
合 計	232

## 一 般 団 体

分 野	団 体 数
総 合（社会奉仕、地域交流等）	30
文 化（合唱、器楽、茶華道、書道等）	55
スポーツ（ダンス、バレーボール、テニス、卓球等）	309
そ の 他	27
合 計	421

## 人権・同和教育

人権の尊重を基盤に、青少年及び女性の人権・同和教育事業に関する学習の援助を行っている。また、人権及び同和問題を正しく理解するための「人権啓発イベント」を開催している。

## 5 文化財事業

文化財保護法の目的である「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」に基づき、区内に現存する文化財について、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、区民の文化的向上に資するとともに郷土文化の発展に貢献する。

## 文化財の保存・普及啓発

区教育委員会では、昭和52年から文化財調査員が区内文化財の全体調査を開始（昭和52年墨田区文化財調査員設置要綱）。昭和57年には墨田区文化財保護条例が制定され、広く文化財の保存及び活用が図られることとなった。

以後、墨田区文化財保護審議会による審議を経た文化財の総数は、令和6年4月1日現在で、登録文化財（区内に存する文化財のうち特に保存する必要があるもの）155件、うち指定文化財（登録文化財のうち、区にとって重要なもの）22件となっている。また、埋蔵文化財包蔵地は、現在138か所である。

普及啓発として、史跡・文化財の周辺に説明板を設置し、墨田区の歴史と文化を紹介するほか、史跡めぐりや講演会、ゆかりの展示、刊行物の発行、伝統工芸の体験学習などを実施している。

文 化 財

有形文化財	建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料など	
無形文化財	演劇、音楽、工芸技術など	
無形民俗文化財	衣食住、生業、信仰、年中行事などに関する風俗慣習又は民俗芸能	
有形民俗文化財	無形民俗文化財に用いられる衣類、器具などの物件	
記念物	史 跡	塚、旧宅などの遺跡
	名 勝	庭園、橋りょうなどの名勝地
	天然記念物	動物、植物など

文化財調査員

(令和6.4.1現在)

氏 名
高 田 圭 祐
千 葉 麻 由 子
鄧 君 龍

墨田区指定文化財

(令和6.4.1現在)

有形文化財	建 造 物	3 件
	絵 画 ・ 典 籍	1 件
	絵 画	14 件
	彫 刻	1 件
	歴 史 資 料	2 件
天 然 記 念 物		1 件

## 墨田区登録文化財

(令和 6. 4. 1 現在)

有形文化財	建 造 物	13 件	有形文化財	歴 史 資 料	46 件
	絵 画 ・ 歴 史 資 料	2 件		考 古 資 料	2 件
	絵 画	5 件	有 形 民 俗 文 化 財		34 件
	絵 画 ・ 典 籍	1 件	無 形 文 化 財	工 芸 技 術	20 件
	彫 刻	11 件	無 形 民 俗 文 化 財	風 俗 慣 習	1 件
	工 芸 品	3 件		民 俗 芸 能	1 件
	古 文 書	6 件	史	跡	5 件
	書 跡	1 件	名	勝	1 件
	歴 史 資 料 ・ 書 跡	2 件	天 然 記 念 物		1 件

## 6 すみだ郷土文化資料館

区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育、学術及び文化の発展に資するため、区内の歴史資料の収集、保存及び展示に関わる事業などを行うことを目的として、平成10年4月12日に開館した。

展示室では、墨田区域の歴史の流れと各時代の特徴を、文献資料や絵画、考古遺物などの実物資料を通じて紹介しているほか、常設展示では、区を象徴する近現代の歴史や文化的な出来事として「隅田川レガッタ」「東京大空襲」等に関する資料を展示している（入れ替えあり）。この他にも、当館所蔵資料を中心に「桜」「火花」「忠臣蔵」といった区ならではの歴史・文化をとりあげるなどして様々な資料を紹介する特集展示や、様々な角度からテーマを設定し、年に数回の企画展示や特別展示も開催することで、常設展示とは異なる角度から区の歴史や文化を見直し、郷土に愛着を持てるような展示を行っている。

資料館では、学校教育においても、区立学校の移動教室や社会科学習の支援となるよう、地域教育支援課学校支援ネットワーク事業と連携を図りながら、児童生徒向け展示解説や昔の生活道具を実際に使ってみる「民具体験」、郷土の歴史をかるた取りで学ぶ「すみだ郷土かるた」の出前授業を行っている。これらの事業は、区民等で構成するすみだ郷土文化資料館ボランティアの会の協力で行い、学校教育支援も含めた幅広い生涯学習支援の一翼も担っている。

### 1 施設のあらまし

所在地 向島2-3-5（電話：5619-7034 FAX：3625-3431）

規模 鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階

休館日 年末年始（1月3日は除く） 月曜日（祝日に当たるときは翌平日）、第4火曜日（祝日に当たるときは翌日）

観覧料 個人100円 団体(20人以上)1人80円 中学生以下無料 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護人は無料

## 2 すみだ郷土文化資料館ボランティアの会

資料館が開催したボランティア養成講座修了者が平成10年に任意で立ち上げたボランティア団体で、来館者と資料館をつなぐパイプ役として活動している。資料整理や来館者への展示解説、児童生徒への民具体験等、資料館事業を幅広くサポートしている。

月 別 入 館 者 数

令和5年度 単位：人

区 分	内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累 計
有 料	個 人	549	576	424	350	389	527	595	398	296	559	471	733	5,867
	団 体	48	20	107	0	40	0	21	20	0	0	53	0	309
	小 計	597	596	531	350	429	527	616	418	296	559	524	733	6,176
無 料	子 供	14	12	6	20	29	18	13	25	15	36	38	110	336
	学 校	0	0	0	1	5	0	1	248	230	709	1,045	2,499	4,738
	身 障 者	34	21	29	14	13	34	48	25	13	27	36	51	345
無 料	区 関 係	15	17	10	21	12	17	25	25	20	22	2	4	190
	免 除・ 計	49	38	39	36	30	51	74	298	263	758	1,083	2,554	5,273
	招 待 券	0	7	2	1	4	1	5	3	6	0	3	8	40
無 料	そ の 他	143	150	150	133	113	165	181	176	145	156	167	259	1,938
	無 料・ 計	206	207	197	190	176	235	273	502	429	950	1,291	2,931	7,587
	合 計	803	803	728	540	605	762	889	920	725	1,509	1,815	3,664	13,763

## 7 立花大正民家園 旧小山家住宅

江戸時代の農家や町家の姿を今に残す建物と庭園が、民家園として平成11年7月1日に開園した。旧小山家住宅は大正6年の建築で、大正12年の関東大震災、昭和20年の東京大空襲もまぬがれた住宅で、区の指定有形文化財（建造物）となっている。建物は一般公開による見学者に支障のない範囲で、有料貸し出しを行っている。また、ひな人形、五月人形展等季節ごとの催しも実施している。※管理は、すみだ郷土文化資料館

所在地 立花6-13-17（電話 3611-4518）

敷地面積 1,356.46㎡

建物面積 150.62㎡（管理人室を含む）

### ○立花大正民家園（庭園）

開園時間 午前9時～午後4時半

入園料 無料

休園日 年末年始

### ○旧小山家住宅

一般公開時間 午後0時半～4時半

利用時間 午前9時半～午後9時

利用料金 1回3時間半以内の使用で、墨田区在住・在勤・在学者は1,100円、それ以外の方は1,650円

ただし、午前中（9時半～正午）だけ使用する場合は墨田区在住・在勤・在学者は770円、それ以外の方は1,150円

※墨田区在住・在勤・在学者は、証明書類の提示が必要

※一般公開による住宅見学者を優先し、見学に支障のない範囲での利用とする。

休館日 年末年始

## 第4節 図 書 館

図書館は、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする図書館法の定めるところに従い、図書その他必要な資料の収集・整理及び保存を行い、広く住民の利用に供するため設置されている。

区内には、ひきふね図書館を中心館として、緑図書館、立花図書館及び八広図書館の4つの図書館のほか、東駒形コミュニティ会館、梅若橋コミュニティ会館及び横川コミュニティ会館の各図書室の7施設で図書館サービスを行っている。また、すみだ共生社会推進センター情報資料コーナーでも、資料の貸出し等、図書館サービスの一部を行っている。

なお、これら8施設はオンラインで結ばれ、資料の管理、貸出し、返却及び検索等をスピーディーかつ的確に処理している。さらに、令和5年6月から電子書籍サービスを導入したほか、令和6年6月からは、図書館の利用登録における電子申請を開始するなど、区民の利便性の向上を図っている。

図書館では、資料の貸出しや読書相談に加え、児童に対する本の読み聞かせや人形劇等の行事や、一般の資料を利用することが困難な方のために、ボランティアの協力を得て、音訳資料（CD-ROM等）の作成や対面朗読を実施するなど、きめ細かなサービスを提供している。また、子どもが自主的な読書活動を行える環境を整備するため、「墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づき、家庭、地域、学校、図書館等が連携・協力しながら、子どもの発達段階に合わせた施策を進めている。

図書館・コミュニティ会館図書室等

名 称	所在地・電話番号	開 館 日	座席数
ひきふね図書館	京 島1-36-5 電話 5655-2350	平 25. 4. 1	248
緑 図 書 館	緑 2-24-5 電話 3631-4621	昭 32. 12. 17	151
立 花 図 書 館	立 花6-8-1-101 電話 3618-2620	昭 55. 6. 18	47
八 広 図 書 館	八 広5-10-1-104 電話 3616-0846	昭 55. 10. 1	65
東駒形コミュニティ 会館図書室	東駒形4-14-1 電話 3623-1141	昭 57. 10. 1	43
梅若橋コミュニティ 会館図書室	堤 通2-9-1 電話 3616-1101	昭 63. 10. 1	30

名 称	所在地・電話番号	開 館 日	座席数
横川コミュニティ 会館図書室	横 川 5-9-1 電話 5608-4500	平 7. 10. 1	81
すみだ共生社会推進センター 情報資料コーナー	押 上 2-12-7-111 電話 5608-1771	平 2. 7. 27	7

墨田区立図書館・図書室等の開館時間と休館日

図書館・図書室	開 館 時 間	休 館 日
ひきふね図書館	月～土曜日（祝日を除く） 午前9時～午後9時 ※1 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	
緑 図 書 館 立 花 図 書 館 八 広 図 書 館 すみだ共生社会推進センター 情報資料コーナー 東駒形・梅若橋・横川 コミュニティ会館 図 書 室	月～土曜日（祝日を除く） 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	館内整理日※2 年末年始 特別整理日※3

※1 「こどもとしょじつ」は、午後6時まで

※2 館内整理日は、毎月第3木曜日。ただし、その日が祝日に当たるときは、その翌日（全館共通）

※3 特別整理日 年間10日以内

なお、八広図書館には、憩い・趣味・学習交流など幅広く利用できる多目的ルームがある。

○八広図書館多目的ルームの利用時間

月～土曜日：午前9時～午後8時

日曜日・祝日：午前9時～午後5時

## 資 料 数 現 況

○図書館

(令和6年4月1日現在)

区分	分類	ひきふね 図書館	緑 図書館	立花 図書館	八広 図書館	小計	
図 書 資 料	一般 図 書	総記	12,666	3,141	1,711	1,136	18,654
		哲学・宗教	12,094	3,837	1,189	1,309	18,429
		歴史・地理	31,746	11,018	3,647	9,398	55,809
		社会科学	49,677	14,526	5,362	5,421	74,986
		自然科学	22,133	8,329	4,311	4,420	39,193
		工学・家事	22,682	8,957	4,376	4,538	40,553
		産業	10,252	3,213	1,713	1,948	17,126
		芸術・体育	31,058	12,204	5,546	6,073	54,881
		語学	7,539	2,695	1,089	991	12,314
		文学	124,626	36,615	21,015	19,841	202,097
		その他	1,928	21	17	31	1,997
		小計	326,401	104,556	49,976	55,106	536,039
		児童 図書	児童図書	(46,986)	(21,883)	(16,812)	(13,170)
		絵本等	29,439	10,991	8,778	7,255	56,463
	小計	76,425	32,874	25,590	20,425	155,314	
	計	355,840	115,547	58,754	62,361	592,502	
雑	誌	26,351	5,590	2,747	2,818	37,506	
視 聴 覚 資 料	C D	5,558	3,832	2,711	2,761	14,862	
	D V D	1,521	776	398	334	3,029	
	H S 録音図書	622	0	0	0	622	
	計	7,701	4,608	3,109	3,095	18,513	
総	計	389,892	125,745	64,610	68,274	648,521	

○コミュニティ会館・共生社会推進センター

区分	分類	東駒形 図書室	梅若橋 図書室	横川 図書室	小計	共生社会推 進センター	総計	
図 書 資 料	一 般 図 書	総記	1,646	1,512	1,839	4,997	191	23,842
		哲学・宗教	2,183	1,613	2,817	6,613	260	25,302
		歴史・地理	6,849	4,884	6,236	17,969	487	74,265
		社会科学	8,873	6,499	9,222	24,594	2,862	102,442
		自然科学	5,606	4,942	6,361	16,909	341	56,443
		工学・家事	6,102	4,940	6,004	17,046	340	57,939
		産業	1,979	2,036	2,122	6,137	74	23,337
		芸術・体育	7,493	6,399	8,473	22,365	407	77,653
		語学	1,346	1,097	1,651	4,094	81	16,489
		文学	24,921	20,583	33,160	78,664	1,828	282,589
	その他	21	25	18	64	6	2,067	
	小計	67,019	54,530	77,903	199,452	6,877	742,368	
	児童 図書	児童図書	(13,641)	(12,430)	(15,856)	(41,927)	(437)	(141,215)
		絵本等	7,685	7,198	10,291	25,174	373	82,010
小計		21,326	19,628	26,147	67,101	810	223,225	
計	74,704	61,728	88,194	224,626	7,250	824,378		
雑	誌	2,316	2,728	2,834	7,878	488	45,872	
視 聴 覚 資 料	C D	1,834	2,586	2,505	6,925	3	21,790	
	D V D	364	306	336	1,006	1	4,036	
	H S 録音図書	0	0	0	0	0	622	
	計	2,198	2,892	2,841	7,931	4	26,448	
総	計	79,218	67,348	93,869	240,435	7,742	896,698	

※ ( ) 内の数は、各分類別に含まれている。

※ すみだ共生社会推進センターは、令和6年4月1日よりすみだ女性センターから名称変更

## 利 用 統 計 (個 人)

(令和5年度)

館名 区分	ひきふね 図書館	緑 図書館	立花 図書館	八広 図書館	小計	
来館者数	492,037	286,798	92,409	99,847	971,091	
貸出者数	263,098	203,625	54,810	53,321	574,854	
貸出点数	649,711	488,394	138,069	133,573	1,409,747	
1回当たり 貸出点数	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	

館名 区分	東駒形 図書室	梅若橋 図書室	横川 図書室	小計	女性 センター	総計
来館者数	180,589	102,168	127,563	410,320		1,381,411
貸出者数	76,444	38,133	83,754	198,331	13,446	786,631
貸出点数	183,919	92,713	203,653	480,285	24,870	1,914,902
1回当たり 貸出点数	2.4	2.4	2.4	2.4	1.8	2.4

## 利 用 現 況

○図書館 (令和5年度)

区分		館名	ひきふね 図書館	緑 図書館	立 花 図書館	八 広 図書館	小 計
個人 登録者数	70歳以上		4,213	2,156	681	1,066	8,116
	60歳～69歳		3,692	1,914	351	476	6,433
	50歳～59歳		6,504	3,355	529	706	11,094
	40歳～49歳		8,585	4,724	855	813	14,977
	30歳～39歳		11,121	5,401	612	495	17,629
	23歳～29歳		7,520	2,614	350	360	10,844
	19歳～22歳		2,801	716	183	246	3,946
	16歳～18歳		1,996	742	260	262	3,260
	13歳～15歳		1,802	971	362	306	3,441
	7歳～12歳		2,906	1,554	609	455	5,524
0歳～6歳		869	549	182	85	1,685	
	計		52,009	24,696	4,974	5,270	86,949
個人 貸出点数	一般図書		373,142	264,785	63,799	71,424	773,150
	児童図書		213,960	177,473	57,439	40,450	489,322
	視聴覚資料		32,442	24,441	8,359	11,105	76,347
	雑誌		30,167	21,695	8,472	10,594	70,928
		計		649,711	488,394	138,069	133,573
団体	登録数		1,063	209	37	90	1,399
	貸出点数		47,908	5,550	966	2,632	57,056
予約・ リクエスト	受付件数		234,730	198,921	51,882	44,010	529,543
	処理件数		196,449	168,228	44,134	38,233	447,044
	レファレンス件数		102	30	6	8	146
	利用者複写枚数		33,613	13,703	5,333	6,213	58,862
催し物	回数		97	66	83	35	281
	参加者数		1,946	1,624	1,003	1,747	6,320
	ボランティア数		134	17	0	6	157

## ○コミュニティ会館・女性センター

区分	館名	東駒形 図書館	梅若橋 図書館	横 川 図書館	小 計	女 性 センター	総 計
個人 登録者数	70歳以上	825	790	619	2,234	69	10,419
	60歳～69歳	492	422	531	1,445	44	7,922
	50歳～59歳	794	553	981	2,328	75	13,497
	40歳～49歳	1,159	596	1,370	3,125	92	18,194
	30歳～39歳	883	320	1,222	2,425	95	20,149
	23歳～29歳	367	226	600	1,193	30	12,067
	19歳～22歳	197	195	277	669	8	4,623
	16歳～18歳	258	196	321	775	4	4,039
	13歳～15歳	285	244	404	933	5	4,379
	7歳～12歳	642	286	699	1,627	7	7,158
	0歳～6歳	145	47	237	429	7	2,121
計	6,047	3,875	7,261	17,183	436	104,568	
個人 貸出点数	一般図書	92,724	51,683	110,422	254,829	14,229	1,042,208
	児童図書	74,889	23,937	75,221	174,047	8,725	672,094
	視聴覚資料	8,269	7,363	8,637	24,269	875	101,491
	雑 誌	8,037	9,730	9,373	27,140	1,041	99,109
	計	183,919	92,713	203,653	480,285	24,870	1,914,902
団体	登 録 数	62	37	41	140	0	1,539
	貸 出 点 数	1,558	1,226	1,688	4,472	0	61,528
予約・ リクエスト	受 付 件 数	79,584	33,929	91,902	205,415	19,567	754,525
	処 理 件 数	69,860	28,910	77,141	175,911	17,138	640,093
レファレンス	件数	51	10	42	103	0	249
利用者	複写枚数	1,903	2,999	7,524	12,426	-	71,288
催し物	回 数	42	15	74	131	-	412
	参 加 者 数	457	394	2,213	3,064	-	9,384
	ボランティア数	1	5	0	6	-	163

※ すみだ女性センターは、令和6年4月1日よりすみだ共生社会推進センターへ名称変更

## 障 害 者 事 業 概 況

(1) 利用統計 (令和5年度) (開館日数 ひきふね・緑・立花・八広・横川343日)

区分		館名	ひきふね 図書館	緑 図書館	立 花 図書館	八 広 図書館	横 川 図書室	合 計
個人登録者数	23歳以上		118	35	51	8	7	219
	16歳～22歳		9	1	0	0	0	10
	13歳～15歳		2	0	0	0	1	3
	7歳～12歳		3	0	0	0	0	3
	0歳～6歳		0	0	0	0	0	0
	計		132	36	51	8	8	235
団体登録者数			10	4	0	4	0	18
個人貸出点数	録音図書	テープ	0	0	0	0	0	0
		デিজター	621	0	0	129	0	750
	録音雑誌	テープ	0	0	0	0	0	0
		デিজター	359	0	0	20	0	379
	市販CT/CD		424	434	339	0	33	1,230
	点字図書		11	199	0	1	0	211
	拡大写本		511	0	0	0	0	511
	大活字本		176	0	87	0	0	263
	一般図書		1,339	304	785	250	174	2,852
	その他		59	0	0	28	0	87
	合計		3,500	937	1,211	428	207	6,283
団体貸出点数			1,698	0	0	580	0	2,278
個人貸出者数 (延べ)			1,227	178	321	117	43	1,886
個人貸出者数 (実数)			94	22	38	7	3	164
予約・リクエスト	受付件数		902	43	0	0	87	1,032
	処理件数		901	37	0	0	106	1,044
相互貸借	貸出点数	テープ	0	0	0	0	0	0
		デিজター	1,690	0	0	0	0	1,690
		点字(図書・データ)	0	0	0	0	0	0
	借受点数	テープ	0	0	0	0	0	0
		デিজター	906	0	0	0	0	906

区分	館名	ひきふね 図書館	緑 図書館	立 花 図書館	八 広 図書館	横 川 図書室	合 計	
	点字(図書・データ)	0	233	0	0	0	233	
	点訳(制作枚数)	1,009	0	0	0	0	1,009	
	拡大写本(制作枚数)	0	0	0	0	0	0	
	テープ・デイジー雑誌制作数	155	0	0	0	0	155	
対面朗読	利用者数(延べ)	231	41	0	32	0	304	
	利用者数(実数)	30	1	0	1	0	32	
	利用時間	468	24	0	37	0	529	
	ボランティア数 (延べ)(人)	313	0	0	0	0	313	
	ボランティア数 (実数)(人)	49	0	0	0	0	49	
宅配	延べ利用者数(個人)	88	34	0	119	18	259	
	延べ利用者数(施設)	311	146	322	0	0	779	
	利用者数(実数)	46	22	38	7	1	114	
郵送	利用者数(延べ)	2,398	0	0	0	0	2,398	
	利用者数(実数)	45	0	0	0	0	45	
施設訪問	訪問数	24	12	36	0	0	72	
	個人貸出	利用者数	311	147	324	0	0	782
		市販CT/CD	482	426	339	0	0	1,247
		拡大写本	0	0	0	0	0	0
		大活字本	0	0	87	0	0	87
		一般図書	707	262	785	0	0	1,754
		その他	70	0	0	0	0	70
	催し物	回数	10	0	0	15	0	25
		参加者数	86	0	0	278	0	364
ボランティア数		21	0	0	33	0	54	

集会施設等利用状況（八広）

（令和5年度）

	和室	洋室（板の間）	ホール	計
（団体数）	（102）	（372）	（498）	（972）
団体人数	799	1,463	5,167	7,429

\*和室・ホールについて、12/19～3/27までの平日午後および夜間は、八広はなみずき児童館第二学童クラブ使用のため利用不可。

図書館指標

項目	年度									
①（区民1人 当たり） 年間購入冊数	0.11	0.11	0.12	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.11
	(0.15)	(0.16)	(0.17)	(0.17)	(0.18)	(0.17)	(0.17)	(0.17)	(0.17)	(0.15)
②（区民1人 当たり） 年間購入金額	178	186	205	218	221	209	216	215	215	205
	(243)	(250)	(271)	(281)	(284)	(268)	(278)	(274)	(274)	(263)
③（区民1人 当たり） 蔵書冊数	2.04	2.09	2.00	2.03	2.07	2.04	2.01	2.07	2.07	2.07
	(3.03)	(3.07)	(2.96)	(2.97)	(2.98)	(2.92)	(2.89)	(2.92)	(2.88)	(2.88)
④借入申込者率 （登録率） 借入申込者数 人口 × 100	28.85	29.34	28.73	29.21	28.78	28.71	28.22	27.94	28.42	30.42
	(36.35)	(36.52)	(35.51)	(35.81)	(35.21)	(35.00)	(34.40)	(33.97)	(34.38)	(36.59)
⑤区民1人当たり 平均貸出数	5.07	5.43	4.66	5.11	5.23	5.02	4.20	5.37	5.19	4.93
	(6.83)	(6.90)	(6.54)	(6.89)	(7.00)	(6.71)	(5.84)	(7.29)	(7.05)	(6.70)
⑥蔵書回転率	2.25	2.35	2.11	2.28	2.30	2.24	1.90	2.35	2.29	2.38
	(2.06)	(2.05)	(2.02)	(2.12)	(2.15)	(2.11)	(1.85)	(2.29)	(2.24)	(2.32)

\*（ ）内は東駒形・梅岩橋・横川コミュニティ会館図書室・すみだ女性センター（現：すみだ共生社会推進センター）情報資料コーナーを含む。

\*人口は令和6年4月1日現在、285,784人。

\*①②は雑誌を含む。

\*③は雑誌を除く。

\*④⑤は団体貸出を除く。